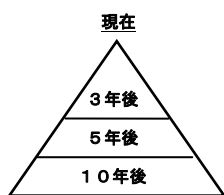


8月20日より7月進研記述模試の成績表と採点答案を返却しました。採点答案には今後伸びていくためのヒントがいっぱい詰まっています。合否判定にばかり気を取られがちですが、見直しまでやり遂げないと一つの模試を完了したとは言えません。しっかり見直してください。2学期は培ってきた基礎力を得点力へ変える収穫期に当たります。限られた時間の中で大きく伸びる秘訣はただ一つ、復習の精度を上げることです。模試ごとに提出してもらっている「模試復習ノート」は、そのためにあるのです。また、受験直前期に自分の弱点を最終確認して、その弱点を克服した状態で入試に臨むためにあるのです。

さて、センター試験まで4ヶ月余りとなりました。来年の自分がどういう結果を手に行っているかは、今の自分がどういう行動をとるか決まります。

決断と行動によって運命を切り開いた人として、歌手のアンジェラ・アキさんのエピソードを紹介しします。彼女は26歳までポスコンでOLをしていました。ある日、彼女は上司に呼び出されます。「叱られる」とビクビクしている彼女に上司は、「君はなぜ今の仕事をしているのか」と尋ねます。続けて、夢を実現する方法について語り始めます。実は、職場の懇親会でアンジェラの歌を聴いて、彼女が自分にふさわしい人生を切り開くために何をすべきか悟らせようとしたのです。上司は下の三角形を使って自己実現の方法を説明します。



まず、3年後、5年後、10年後の自分を思い描く。次に、そんな自分になるために何をしなければいけないかを書き出す。どんな小さなことでも構わない — 6時に起きること、ため息をつかないこと。一つ一つ実現していきなさい。

彼女は26歳で単身来日し、飛び込みで自分を売り込みはじめます。半年間も足を棒にして歩き回りますが、「26歳では遅すぎる」とか「ハーフは売れない」とか、全く相手にされません。追い込まれた惨めさの中で、「武道館でコンサートをやる」という目標と、「朝××時に起床する」などの小さな日常の行動規則をびっしりと紙に書いて部屋の壁に貼り、東京の片隅で歌い続けます。3年後、彼女は本当に武道館のステージに立ったのです。(校長 鹿熊国彦)

いよいよ2学期が始まります

8月30日(月)からの2学期通常授業を前に、28日に受講登録を行いました。予備校の授業を柱にして受験対策を進めていけるよう、2学期はこれまで以上に実戦的な授業を開設しています。

また、この日は夏期の宿題の提出期限としていました。ほとんどの生徒はしっかりと提出しましたが、間に合わなかった生徒もいます。早急に仕上げ、2学期の勉強に集中してほしいと思います。

センター試験、国立「66789」私大「678」の原則

国公立大合格に必要なセンター試験7科目の目標得点は、難関レベルの9割台から7割台まで様々。金沢大なら8割、富山大なら7割です。国立大志望者は「6・6・7・8・9(不得意科目でも6割、得意科目なら8割~9割)」が最低条件です。

私立大学のセンター試験利用入試では、3教科型受験が多く、当然こちらの方がボーダーは上がります。

また、私立大学の一般入試では、文系7割前後、理系6割台が多いようです。要項などで合格点を公表しています。

大学入試センター試験出願準備始まる

9月4日(土)全体ホームルームにて、平成23年度大学入試センター試験「受験案内」を配布します。

出願期間は**10月1日(金)~14日(木)消印有効**です。

センター試験「志願票」の下書きチェック

9月13日(月)より担任面談でチェック!

- ▶センター志願票に鉛筆で下書きをする。
- ▶浪人生は、現役時代のように学校経由ではなく個人の直接出願となります。本校では、まず志願票の下書きをチェックし、9月30日までに志願票の最終チェックを行います。
- ▶出願には出身高校の卒業証明書(コピー不可)が必要です。

9月重要スケジュール

- 9月 4日(土) センター試験「受験案内」配布
- 9月 5日(日) 全統記述模試
- 9月11日(土) 全体 HR
- 9月19日(日) 進研・駿台共催マーク模試
- ・20日(祝)
- 9月21日(火) セ試志願票清書チェック
- ~30日(木)
- 9月26日(日) 代ゼミ全国センター模試(希望者)